

Shuyukan CAN-DO List

4技能 5領域		1年	2年	3年
表現	話すこと	やりとり	<ul style="list-style-type: none"> ・公の場を含む身近な状況について、問題を説明したり要望を伝えたりすることができる。 ・ある程度社会性のある話題に関するスピーチなどを聞いて、その内容について質疑応答ができる。 ・ある程度社会性のある話題で簡単なディベートをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な話題に関するスピーチを聞いて、それについて詳しく質問したり、反論したり、関連情報を付け加えたりすることができる。 ・現代の諸問題について、準備をしなくても、自分の意見を明確に述べ、NET、ALTや他の生徒と議論することができる。
		発表	<ul style="list-style-type: none"> ・準備をすれば、自分の意見や身近な話題に関して、2分間程度のスピーチを行うことができる。 ・原稿を準備すれば、国や文化等の紹介をIT機器を適宜活用しながら、簡単な表現を用いてある程度流暢に発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備をせずに、様々な話題に関して自分の意見を交えながら、3分間程度のスピーチを行うことができる。 ・原稿を準備すれば、社会性の高い話題についてIT機器を適宜活用しながら、効果的な表現方法を駆使して流暢に発表することができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事柄について、その内容や感想を伝える文章を書くことができる。 ・教科書の本文の要約や、内容に関する感想などを20分程度で100語程度にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味関心のある事柄について、説明したり自分の考えや意見を書いたりすることができる。 ・ある程度社会性のある話題について、20分程度で150語程度の文章に適切なディスコースマーカーを用いてまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NETやALTの50分の専門的な講義を聞いて、英語でとったノートをもとに内容をまとめ、自分の考えや意見を加えて、15分程度で150語程度の文章にすることができる。 ・自分の意見や感想を、時系列、対比、因果関係などの段落構成を意識し、自分の考えの根拠や効果的な事例を示しながら、20分程度で3段落・200語程度の文章にまとめることができる。
理解	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・なじみのある発音でゆっくり話されれば、日常生活に関する内容(授業中の簡単な指示や道案内、買物における相手の発言など)を理解することができる。 ・なじみのある発音で話されれば、身近なニュースや天気予報を聞いて、その概要を掴むことができる。 ・身近な話題に関してALTがゆっくり、必要であれば繰り返しながら話す15分程度の講義を聞いて、その概要を掴むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に関する内容(授業中の指示や公共の施設や交通機関での指示など)を理解することができる。 ・なじみのある発音で話されれば、テレビやラジオのニュース番組を聞いて、その概要を掴むことができる。 ・アウトラインがあれば、ALTやNETがややゆっくり話す25分程度の講義を聞いて、その内容を理解し、ノートをとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に関する内容(母語話者同士の会話など)の概要を掴むことができる。 ・自然な速さの標準的な英語であれば、テレビやラジオの番組を聞いて、その概要を掴むことができる。 ・事前に専門用語等を提示されていれば、NETがほぼ自然な速さで話す50分程度の専門的な内容の講義を聞いて、その内容を理解し、ノートをとることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なチラシやパンフレットの内容を理解することができる。 ・日本語の注や説明がついていれば、新聞記事などで興味関心のある話題について要点を理解することができる。 ・身近で具体的な話題であれば、400語程度の文章を85wpm程度で読んで、内容をほぼ理解することができる。 ・1200語レベルの副読本を自学で読破できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なじみのある話題であれば、それに関連する新聞記事などを読んで、要点を理解することができる。 ・あまり抽象度が高くなければ、500語程度の文章を100 wpm程度で読んで、内容をほぼ理解することができる。 ・辞書を用いれば、やや抽象度の高い文章を、構成を意識しながら読み、要点・賛否・筆者の意図などをほぼ理解することができる。 ・1600語レベルの副読本を自学で読破できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書を用いれば、The Japan Times、Science、National Geographicなどの記事を読んで、要点・賛否・筆者の意図・論理の展開などをほぼ理解できる。 ・あまり抽象度が高くなければ、600語程度の文章を110wpm程度で読んで、内容をほぼ理解することができる。 ・抽象度の高い500語程度の文章を100wpm程度で読んで、内容をほぼ理解することができる。